

# 【参考資料1】 アンボン島ウェイエラ川の天然ダム決壊災害の概要

## 【概要】

昨年9月以来、国交省が技術的な助言等を行ってきたインドネシア共和国マルク州アンボン島ウェイエラ川の天然ダム※が7月25日10:30頃決壊し、7月29日現在、3名行方不明のほか、村の約6割の人家が流失したものの、5200人以上の住民は避難していた。

※2012年7月13日に形成され、その後徐々に水位が上昇しつつあった。

決壊前の天然ダムの高さ約110m、満水湛水量：約1,500万m<sup>3</sup>。 約2km下流に約5,000人の集落(ヌグリ・リマ村)

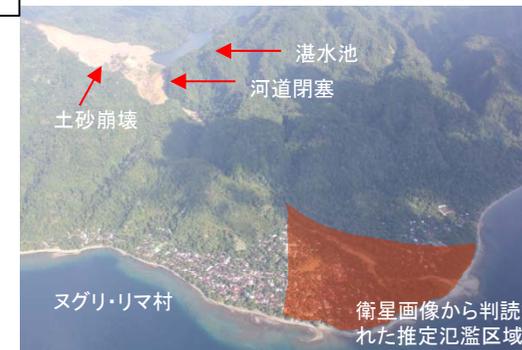


出典：インドネシア国家防災庁  
情報広報センター長Twitter



25日11:30頃 出典：インドネシア国家防災庁  
情報広報センター長Twitter

下流域の氾濫状況



天然ダム決壊前のヌグリ・リマ村

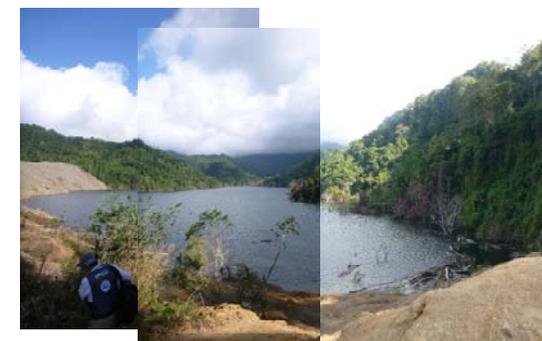


天然ダムの決壊状況

天然ダムの決壊後



天然ダムの決壊状況  
BNBP(国家防災庁)HP



決壊前の天然ダム  
(H24年9月撮影)

## 【決壊当日の状況】

7月24日の集中豪雨(日雨量約430mm)により越流し、翌25日10:30頃決壊。天然ダム下流域では6~7メートルの高さで氾濫し、470戸以上の家屋、3つの小学校、その他公共施設やモスク(イスラム教の礼拝所)に甚大な被害。3名行方不明、5,234名が避難。(インドネシア国家防災庁7月29日発表)